

2026年度

【4月入学】

【9月入学】

南山大学大学院 入学試験要項

国内在住外国人入学審査

■人間文化研究科

キリスト教思想専攻（4月入学のみ）

宗教思想専攻（4月入学のみ）

言語科学専攻

■国際地域文化研究科

■社会科学研究科

経済学専攻（博士前期課程）

■法学研究科（博士前期課程・4月入学のみ）

■理工学研究科

NANZAN
UNIVERSITY

目 次

■ 建学の理念	1
■ 3つのポリシー	1
■ 国内在住外国人入学審査の趣旨	2

■ 入学審査概要【2026年4月入学】.....	3
1. 審査日程および募集人員	3
2. 出願資格	4
3. 審査方法および審査日時	7
4. 出願書類	9
5. 出願書類についての注意事項	10
6. 出願書類記入上の注意	11

4
月
入
学

■ 入学審査概要【2026年9月入学】	13
1. 審査日程および募集人員	13
2. 出願資格	14
3. 審査方法および審査日時	17
4. 出願書類	19
5. 出願書類についての注意事項	20
6. 出願書類記入上の注意	21

9
月
入
学

■ 共通事項【2026年4月入学・2026年9月入学】	23
1. 入学検定料	23
2. 出願方法（郵送に限ります）	23
3. 受験票の受け取り	23
4. 試験場	23
5. 審査当日の注意事項	23
6. 筆記試験について	23
7. 口述試問について	24
8. 合格発表	24
9. 入学手続	24
10. 入学試験に関する個人情報開示	25
11. 南山大学大学院博士後期課程奨学支援制度	25
12. その他	26
13. 入学試験参考図書リスト	26
南山大学構内図・南山大学アクセスマップ	

共
通
事
項

■入試に関する情報は、南山大学大学院 Web ページでご確認ください。

<https://www.nanzan-u.ac.jp/grad/>

不測の事態により、この要項に記したことに変更が生じる場合や、追加でお知らせする場合は、全てこのページに掲載します。適宜ページをご確認いただきますよう、お願いいたします。

■個人情報の取り扱いについて

出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は入学試験実施、合格発表、入学手続とこれらに付随する事項、また入学後の指導上の参考資料として利用します。

上記の業務は、その一部を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「委託業者」）において行います。業務委託にあたり、委託業者に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。個人が特定できないように統計処理した個人情報データは、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。あらかじめご了承ください。

■建学の理念

【建学の理念】

本学は「キリスト教世界観に基づく学校教育」を建学の理念とし、その建学の理念に具体的な方向性を与えるために「人間の尊厳のために（*Hominis Dignitati*）」という教育モットーを掲げています。

【目的】

本学大学院は大学学部における教育の基礎の上に、高度にして専門的な学術の理論および応用を研究し、その深奥を究めると共に、キリスト教世界観に立ち、人間の尊厳を自覚した社会人として、文化の進展と人類の福祉に寄与する人物を養成することを目的としています。

したがって本学は、専門的研究に従事するために必要な素養を持ち、さらにその研究成果を人間の尊厳を尊重しつつ社会生活と人間性の向上に応用できる人材を受け入れることを目指しています。

■3つのポリシー

本学の教育モットーである「人間の尊厳のために」をもとに、大学院の各研究科・専攻でディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）、アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）を設けています。この3つのポリシーについては以下のWebページをご参照ください。

<https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/hoshin/policy.html>

■国内在住外国人入学審査の趣旨

人間文化研究科

キリスト教思想専攻・宗教思想専攻では神学、哲学、宗教学の三領域における専門教育を通して、研究者を養成すると共に、司祭・修道者・信徒の教育養成も行います。本専攻はこれまでもこれらの領域で多くの留学生や国内在住外国人を受け入れてきました。特に国内在住外国人志願者の便宜を図るため、小論文と口述試問のみによる入学審査制度を設けました。言語科学専攻では、文法理論および言語習得論（母語獲得、第二言語習得）を柱として、専門教育を行います。人間言語の普遍的な理論の構築をめざすとともに、第一言語および第二言語習得のメカニズムを研究して、個別言語研究の枠を越えて、広い視野から国際的に活躍しう言語の専門家を養成します。本専攻は、これまでこれらの分野で留学生を受け入れてきましたが、既に国内に在住している留学生も受験できるよう国内在住の外国人のための入学審査制度を設けました。

国際地域文化研究科

国際地域文化専攻では、ますますグローバル化する国際社会の福利と相互理解の促進のために積極的に活躍できる、優れた人材を育成するために、多彩な国際地域文化研究のカリキュラムを提供し、外国人学生を受け入れます。本研究科では、これまでも留学生を受け入れてきましたが、既に国内に在住している留学生も受験できるよう国内在住の外国人のための入学審査制度を設けました。

社会科学研究科

経済学専攻では、留学生など国内に在住する外国人が増えている現状を踏まえ、本学の国際化進展に資することを目的とし、国内在住外国人対象の外国人入学審査制度を設けています。就業経験の有無や学生・社会人の区別を問うことなく、経済学専攻において修士の学位取得を目指す意欲を持った国内在住の外国人を対象にした入学審査です。

法学研究科

法律学専攻では、留学生など国内に在住する外国人が増えている現状を踏まえ、本学の国際化進展に資することを目的とし、国内在住外国人対象の外国人入学審査制度を設けています。就業経験の有無や学生・社会人の区別を問うことなく、法律学専攻において修士の学位取得を目指す意欲を持った国内在住の外国人を対象にした入学審査です。

理工学研究科

理工学研究科は、これまで各専攻で留学生や国内在住外国人を受け入れています。外国人人材の活躍が期待される現状を踏まえ、理工学研究領域におけるグローバルな視点をもつ優れた人材の受け入れを促進するために、既に国内に在住している留学生が適切に受験できる国内在住外国人入学審査制度を設けました。

■入学審査概要【2026 年 4 月入学】

夏季審査合格者および春季審査合格者とも入学時期は2026年4月です。

合格者のうち、2026年3月卒業・修了見込者については内定とします。

1. 審査日程および募集人員

夏季審査

研究科	専攻（課程）	出願期間・入学検定料振込期間	審査日	合格発表	募集人員
人間文化	キリスト教思想 （博士前期）	2025 年 6 月 6 日（金） ～6 月 16 日（月） 【消印有効】	2025 年 7 月 12 日（土）	2025 年 7 月 17 日（木） 13 : 00	若干名
	言語科学 （博士前期・博士後期）				
国際地域文化	国際地域文化 （博士前期・博士後期）				
社会科学	経済学 （博士前期）				
法学	法律学 （博士前期）				
理工学	ソフトウェア工学 （博士前期・博士後期） データサイエンス （博士前期・博士後期）				
	電子情報工学 機械システム工学 （博士前期）				
	機械電子制御工学 （博士後期）				

春季審査

研究科	専攻（課程）	出願期間・入学検定料振込期間	審査日	合格発表	募集人員
人間文化	キリスト教思想 （博士前期）	博士前期課程 2026 年 1 月 5 日（月） ～1 月 15 日（木） 【消印有効】 博士後期課程 2026 年 1 月 5 日（月） ～1 月 21 日（水） 【消印有効】	2026 年 2 月 21 日（土）	2026 年 3 月 5 日（木） 13 : 00	若干名
	宗教思想 （博士後期）				
	言語科学 （博士前期・博士後期）				
国際地域文化	国際地域文化 （博士前期・博士後期）				
社会科学	経済学 （博士前期）				
法学	法律学 （博士前期）				
理工学	ソフトウェア工学 （博士前期・博士後期） データサイエンス （博士前期・博士後期）				
	電子情報工学 機械システム工学 （博士前期）				
	機械電子制御工学 （博士後期）				

2. 出願資格

外国の国籍を有する日本在住者で、次のいずれかに該当する者、または2026年3月末までに該当見込みの者で、かつ各専攻の示す要件を満たす者。ただし、春季審査に出願する場合は、出願時に就学可能な在留資格を有していることを条件とする。さらに、その在留期限が入学手続期間最終日の翌日以降であることを条件とする。

博士前期課程

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認めた者で、かつ2026年3月末までに22歳に達している者

〔注〕出願資格(9)については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者などが該当します。「個別の入学資格審査」を希望する場合は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」（所定用紙Ⅰ）を請求して、夏季に出願の場合は2025年5月14日（水）＜消印有効＞までに、春季に出願の場合は2025年11月5日（水）＜消印有効＞までに封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書（厳封のもの）を必ず同封してください。

各専攻の出願要件

専 攻	出願要件
言語科学	次の a, b いずれかの条件を満たす者
	a 日本語教育領域を専攻するか、あるいは日本語で修士論文を執筆しようとする志願者は次の語学能力条件をいずれも満たさなければならない。 〔日本語について〕 ・日本語能力について以下のいずれかの方法で示すこと 1) 出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N1（旧1級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』360点以上を満たしていること 2) 出願時に日本語教育指導を受ける教育機関の担当者による、日本語能力が1) で示された能力に相当するかそれ以上であることを証する評価書（※ただし、主に日本語で授業を開講するカリキュラムや、日本語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は日本語能力の証明書や評価書の提出は不要） ・日本語で論文やレポートを書く能力があること 〔英語について〕 ・英語で学術文献を読む能力があること
	b 英語で修士論文を執筆しようとする志願者は次の語学能力条件をいずれも満たさなければならない。 〔英語について〕 ・出願時までに TOEFL-iBT で 100 点以上、または IELTS で 7.5 以上のスコアを取得していること（※ただし、主に英語で授業を開講するカリキュラムや、英語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は英語能力の証明書の提出は不要） 〔日本語について〕 ・日本語能力について以下のいずれかの方法で示すこと 1) 出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N2（旧2級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』300点以上を満たしていること 2) 出願時に日本語教育指導を受ける教育機関の担当者による、日本語能力が1) で示された能力に相当するかそれ以上であることを証する評価書（※ただし、主に日本語で授業を開講するカリキュラムや、日本語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は日本語能力の証明書や評価書の提出は不要）

国際地域文化	「日本語能力試験 N1（旧 1 級）」（日本国際教育支援協会）または「日本留学試験の『日本語』300 点以上（記述を含む点数）」（独立行政法人日本学生支援機構）を取得していること
法律学	日本語を第一言語としない者で、出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N1（旧 1 級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』240 点以上（記述を含めた場合は 270 点以上）を満たしていること

【備考】社会科学部研究科経済学専攻の志願者に関して

- （1）経済学専攻の志願者は、出願前に、指導を希望する研究指導担当者、研究テーマや研究計画等について、必ず面談を行ってください。面談終了後、教員より入学志願者調書に署名をもらってください。
- （2）経済学専攻の志願者で優れた研究業績のある者については、修業年限を 1 年および 1 年半とする場合があります。短縮修了を希望する志願者は出願前に、指導を希望する研究指導担当者とは必ず面談を行い、短縮修了願書の教員署名欄に署名をもらってください。詳細は社会科学部研究科事務室にお問合せください。

【備考】理工学研究科の志願者に関して

- （1）日本語を第一言語としない方の日本語能力の目安について
本研究科の授業を履修するためには、公益財団法人日本国際教育支援協会（Japan Educational Exchanges and Services）実施の「日本語能力試験」N2（旧 2 級）合格以上または独立行政法人日本学生支援機構（Japan Student Services Organization）実施の日本留学試験の「日本語」200 点以上の能力が必要です。
- （2）出願前に、指導を希望する研究指導担当者とは必ず面談を行ってください。面談終了後、教員より入学志願者調書に署名をもらってください。

博士後期課程

- （1）修士の学位または専門職学位を有する者
- （2）外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- （3）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- （4）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- （5）文部科学大臣の指定した者
- （6）本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認めた者で、かつ 2026 年 3 月末までに 24 歳に達している者

〔注〕出願資格(6)については、大学の卒業者または大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者などが該当します。「個別の入学資格審査」を希望する場合は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」（所定用紙Ⅰ）を請求して、夏季に出願の場合は 2025 年 5 月 14 日（水）＜消印有効＞までに、春季に出願の場合は 2025 年 1 月 5 日（水）＜消印有効＞までに封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書（厳封のもの）を必ず同封してください。

各専攻の出願要件

専 攻	出願要件
	次の a, b いずれかの条件を満たす者
言語科学	a 言語習得領域で日本語教育を専攻するか、あるいは日本語で博士論文を執筆しようとする志願者は次の語学能力条件をいずれも満たさなければならない。 〔日本語について〕 ・日本語能力について以下のいずれかの方法で示すこと 1) 出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N1（旧 1 級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』380 点以上を満たしていること 2) 出願時に日本語教育指導を受ける教育機関の担当者による、日本語能力が 1) で示された能力に相当するかそれ以上であることを証する評価書（*ただし、主に日本語で授業を開講するカリキュラムや、日本語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は日本語能力の証明書や評価書の提出は不要） ・日本語で論文やレポートを書く能力があること 〔英語について〕 ・英語で学術文献を読みこなす高度な能力があることを以下のいずれかの方法で示すこと。 1) 英語の学術論文の読解力を有することについての説明とそれを裏付けるもの（例えば、複数の英語文献を先行研究として要約して論じた修士論文） 2) 英語試験（読解）の結果（例えば、IELTS (reading) 6 以上、または、TOEFL-iBT (reading) 30 点中 18 点以上、英検準 1 級以上）を満たしていること（ただし、主に英語で授業を開講するカリキュラムや、英語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は英語能力の証明書の提出は不要）

言語科学	b	英語で博士論文を執筆しようとする志願者は次の語学能力条件をいずれも満たさなければならない。 〔英語について〕 ・出願時まで TOEFL-iBT で 100 点以上、または IELTS で 7.5 以上のスコアを取得していること（＊ただし、主に英語で授業を開講するカリキュラムや、英語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は英語能力の証明書の提出は不要） 〔日本語について〕 ・日本語能力について以下のいずれかの方法で示すこと 1) 出願時まで 公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N2（旧 2 級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』300 点以上を満たしていること（＊ただし、主に日本語で授業を開講するカリキュラムや、日本語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は日本語能力の証明書や評価書の提出は不要） 2) 出願時に日本語教育指導を受ける教育機関の担当者による、日本語能力が 1) で示された能力に相当するかそれ以上であることを証する評価書
国際地域文化		以下の a または b の条件を満たす者
	a	日本語での博士論文執筆希望者 「日本語能力試験 N 1（旧 1 級）」（日本国際教育支援協会）または「日本留学試験の『日本語』300 点以上（記述を含む点数）」（独立行政法人日本学生支援機構）を取得していること
	b	英語での博士論文執筆希望者 以下の【英語】および【日本語】の条件を満たしていること
		【英語】 (1)～(3)いずれかの基準以上のスコアを取得していること (1) TOEFL-iBT： 79 点以上 (2) TOEFL-PBT： 550 点以上 (3) I E L T S： 6.0 以上 ※ただし、英語が第一言語の者は、英語の語学能力証明書類の提出を免除する。 【日本語】 (1)～(2)いずれかの基準以上のスコアを取得していること (1)「日本語能力試験 N 2（旧 2 級）」（日本国際教育支援協会） (2)「日本留学試験の日本語 200 点以上」（独立行政法人日本学生支援機構） ※(1)または(2)と同等の日本語能力を有することを示す出身大学等の指導教員ないし日本語教育担当教員からの証明書類（推薦状）の提出も可とする。 ※日本の大学、大学院のいずれかを、日本語で授業を受け、卒業、修了（見込みを含む）した者は、日本語能力の証明書を免除とする。

【備考】理工学研究科の志願者に関して

- (1) 日本語を第一言語としない方の日本語能力の目安について
本研究科の授業を履修するためには、公益財団法人日本国際教育支援協会（Japan Educational Exchanges and Services）実施の「日本語能力試験」N 2（旧 2 級）合格以上または独立行政法人日本学生支援機構（Japan Student Services Organization）実施の日本留学試験の「日本語」200 点以上の能力が必要です。
- (2) 博士後期課程において、英語による授業・研究指導を希望する場合は、相談に応じます。
- (3) 出願前に、指導を希望する研究指導担当者と研究テーマや研究計画等について、必ず面談を行ってください。面談終了後、教員より入学志願者調書に署名をもらってください。

3. 審査方法および審査日時

人間文化研究科

専攻	審査日	時間	審査方法	配点	備考
キリスト教思想 (博士前期)	【夏季】 2025 年 7 月 12 日 (土) 【春季】 2026 年 2 月 21 日 (土)	—	書類審査	100 点	研究計画書を重視する。
		10:00 ～11:30	小論文	100 点	主たる研究領域（神学領域、哲学領域、宗教学領域）から 1 領域を出願時に選択）に関する基礎知識・英語読解力・論述力を問う問題。 英和辞書持込可（電子辞書不可）
		12:30～	口述試問	100 点	—
宗教思想 (博士後期)	【春季】 2026 年 2 月 21 日 (土)	—	書類審査	100 点	研究計画書を重視する。
		10:00 ～11:30	小論文	100 点	主たる研究領域（神学領域、哲学領域、宗教学領域）から 1 領域を出願時に選択）に関する専門的文章について日本語読解力と英語読解力ならびに論述力を問う問題。 英和辞書持込可（電子辞書不可）
		12:30～	口述試問	100 点	—
言語科学 (博士前期)	【夏季】 2025 年 7 月 12 日 (土) 【春季】 2026 年 2 月 21 日 (土)	—	書類審査	50 点	研究計画書を重視する。
		10:00 ～11:00	英文資料を基に 解答する科目	50 点	言語に関する一般的な内容の英文資料を読んで解答する。 辞書持ち込み不可
		11:15 ～12:15	小論文	50 点	日本語をはじめとする外国語学習の経験に関連した言語に関する基礎知識、論述力をみる。
		13:30～	口述試問	50 点	研究計画書の内容に関する口述試問。
言語科学 (博士後期)	【夏季】 2025 年 7 月 12 日 (土) 【春季】 2026 年 2 月 21 日 (土)	—	書類審査	50 点	研究計画書を重視する。
		13:00～	口述試問	50 点	提出論文、研究計画書の内容に加えて、言語理論または言語習得論に関する知識を問う。

国際地域文化研究科

専攻	審査日	時間	審査方法	配点	備考
国際地域文化 (博士前期)	【夏季】 2025 年 7 月 12 日 (土) 【春季】 2026 年 2 月 21 日 (土)	—	書類審査	100 点	研究計画書を重視する。
		10:00 ～12:00	小論文	100 点	志望する研究領域についての基礎知識・論述力（使用する言語能力を含む）を問う問題。
		13:00～	口述試問	100 点	志望する研究領域・研究分野に関する基礎知識（使用する言語能力を含む）ならびに研究計画についての試問。
国際地域文化 (博士後期)	【夏季】 2025 年 7 月 12 日 (土) 【春季】 2026 年 2 月 21 日 (土)	—	書類審査	100 点	提出論文および研究計画書について
		13:00～	口述試問	100 点	国際地域文化に関する専門知識（使用する言語能力を含む）ならびに研究計画についての試問。

社会科学研究科

専攻	審査日	時間	審査方法	配点	備考
経済学 (博士前期)	【夏季】 2025 年 7 月 12 日 (土) 【春季】 2026 年 2 月 21 日 (土)	10:00 ～11:30	小論文	100 点	テーマは経済に関する時事問題
		12:00 ～13:30	専攻科目	100 点	専攻科目の基礎に関する用語の説明
		15:00～	口述試問	100 点	提出された書類を参考に、志望動機、勉学意欲を中心とした口述試問。

法学研究科

専攻	審査日	時間	審査方法	配点	備考
法学 (博士前期)	【夏季】 2025 年 7 月 12 日 (土) 【春季】 2026 年 2 月 21 日 (土)	—	書類審査	100 点	研究計画書を重視する
		10:00 ～11:30	小論文	100 点	法律に関する時事問題
		13:00～	口述試問	100 点	提出された書類を参考に、志望動機、勉学意欲を中心とした口述試問

理工学研究科

専攻	審査日	時間	審査方法	配点	備考
全専攻 (博士前期)	【夏季】 2025 年 7 月 12 日 (土) 【春季】 2026 年 2 月 21 日 (土)	10:00 ～11:30	数学 (微分積分、線形代数)、 物理	150 点	
		12:30 ～13:15	英語	100 点	辞書持ち込み可 (電子辞書も可)
		13:30 ～15:00	専門領域に関する基礎知識	200 点	ソフトウェア工学、情報科学、オペレーションズ・リサーチ、統計学、機械学習工学、通信ネットワーク、数理論理学、機械工学、制御工学の 9 題から、志望する専攻に応じて、以下のとおり、2 題を選択する。 ○ソフトウェア工学専攻： ソフトウェア工学、情報科学の 2 題から 1 題を選択し、選択しなかった残り 8 題から 1 題を選択 ○データサイエンス専攻： オペレーションズ・リサーチ、統計学、機械学習工学の 3 題から 1 題を選択し、選択しなかった残り 8 題から 1 題を選択 ○電子情報工学専攻： 情報科学、通信ネットワーク、数理論理学の 3 題から 1 題を選択し、選択しなかった残り 8 題から 1 題を選択 ○機械システム工学専攻： 機械工学、制御工学の 2 題から 1 題を選択し、選択しなかった残り 8 題から 1 題を選択
		15:15～	口述試問	200 点	15 分間程度
全専攻 (博士後期)	【夏季】 2025 年 7 月 12 日 (土) 【春季】 2026 年 2 月 21 日 (土)	13:00～	口述試問	100 点	書類審査および出願書類の研究成果資料 (あるいは研究計画書) を中心とした 1 時間程度の口述試問 ※筆記試験はありません

4. 出願書類 ※所定用紙（PDF、Word）は本学 Web ページよりダウンロード可能です。

1	入学志願票	所定用紙①
2	写真票 ・出願前 3 か月以内に撮影した正面半身脱帽、背景無地のカラー写真（縦 4cm×横 3cm）裏面に研究科・専攻名および志願者名を記入後、貼付すること。	所定用紙②
3	入学志願者調書 ※経済学専攻および理工学研究科の志願者は事前面談が必要となります。	所定用紙③
4	博士前期課程志願者 出身大学等の卒業証明書または卒業見込証明書 出身大学等の成績証明書（厳封のもの） ・複数の学部を卒業された方はそのすべての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合はその科目を履修した大学等の成績証明書も提出してください。	
5	博士後期課程志願者 修士の学位取得証明書または取得見込証明書 出身大学院（修士課程または博士前期課程）の成績証明書（厳封のもの） ・複数の大学院を修了された方は、そのすべての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合はその科目を履修した大学院等の成績証明書も提出してください。	
6	研究計画書 3 部（1 部は原本、2 部はコピー） （言語科学専攻および国際地域文化専攻博士後期課程は 1 部）	所定用紙④
7	論文 ※宗教思想専攻（博士後期課程） 言語科学専攻（博士後期課程）・国際地域文化専攻（博士後期課程）・理工学研究科（博士後期課程）のみ 宗教思想専攻、言語科学専攻（博士後期課程）志願者 公刊・未公刊は問わない ・修士論文を書き終わっている場合は、修士論文のコピーを提出してください。 ・修士論文以外の業績（論文）がある場合は、その抜き刷りあるいはコピーも提出してください。 ・ただし、提出された論文の扱いは専攻によって異なります。 国際地域文化専攻（博士後期課程）志願者 公刊・未公刊は問わないが、研究能力を示すもの ・修士論文または修士論文に相当する論文のコピーを提出してください。執筆論文がない場合は、これまでの研究成果を示す報告書を提出してください。 理工学研究科（博士後期課程）志願者 修士論文、最近 2 年間程度の学会・研究会発表論文等の研究成果資料のコピー ・研究成果資料が無い方は、現在進めている研究内容についての研究計画書（A4 サイズ用紙にワープロ 2 枚程度：任意用紙）を提出してください。 ・就業経験のある方は、研究成果資料のコピーに加えて実務経験に基づく研究計画書（A4 サイズ用紙にワープロ 2 枚程度：任意用紙）を提出してください。	
8	志望理由書（国際地域文化研究科は博士前期課程・博士後期課程志願者、 そのほかの研究科は博士後期課程志願者のみ）	所定用紙⑤
9	志願者をよく知る教員の所見（厳封のもの） ※宗教思想専攻志願者のみ	所定用紙⑥

10	推薦書（厳封のもの） 志願者の人物、学力をよく知る方に依頼すること ・言語科学専攻（博士前期課程）志願者 1通 ・言語科学専攻（博士後期課程）志願者 2通 ・国際地域文化専攻（博士後期課程）志願者 1通 ・理工学研究科志願者 1通	所定用紙⑦
11	語学能力証明書【言語科学専攻、国際地域文化専攻および法律学専攻以外】 a. 英語が第一言語でない志願者で、Educational Testing Service (ETS) が実施する「Test of English as a Foreign Language (TOEFL)」または、ケンブリッジ大学英語検定機構、ブリティッシュ・カウンシル、IDP Education が実施する「International English Language Testing System (IELTS)」を受験した者は、参考資料として成績結果を提出してください。 b. 日本語が第一言語でない志願者で、公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」を受験した者は、参考資料として成績結果を提出してください。	所定用紙⑧
12	語学能力証明書【言語科学専攻、国際地域文化専攻】 言語科学専攻（博士前期課程）志願者、国際地域文化専攻（博士前期課程）志願者 ・出願資格「専攻の出願要件」を満たしていることを確認できる証明書を添付してください。 言語科学専攻（博士後期課程）志願者、国際地域文化専攻（博士後期課程）志願者 ・出願資格「専攻の出願要件」を満たしていることを確認できる証明書を添付してください。	所定用紙⑨
13	語学能力証明書【法律学専攻】 ・出願資格「専攻の出願要件」を満たしていることを確認できる証明書を添付してください（必須）。 ・英語が第一言語でない志願者で、Educational Testing Service (ETS) が実施する「Test of English as a Foreign Language (TOEFL)」または、ケンブリッジ大学英語検定機構、ブリティッシュ・カウンシル、IDP Education が実施する「International English Language Testing System (IELTS)」を受験した者は、参考資料として成績結果を提出してください。（任意）	所定用紙⑩
14	博士後期課程志願者 南山大学大学院博士後期課程奨学支援申請書	所定用紙⑪
15	修業年限短縮願【人間文化研究科】（希望者のみ）	所定用紙⑫
16	入学検定料（15,000 円）振込領収書 ・ATM 利用の場合は、利用明細のコピー可	所定用紙⑬
17	留学費支払能力に関する証明書（定住者・永住者を除く） ・最低預貯金残高…初年度学生納入金相当額	所定用紙⑭
18	宛名シール（宛名明記）	
19	受験票返送用封筒（宛名明記、定形郵便速達料金分の切手貼付）	
20	パスポートおよび在留カードの写し ・パスポートは氏名の記載頁を、在留カードは両面のコピーを提出してください。	

5. 出願書類についての注意事項

- 出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は入学試験実施、合格発表、入学手続とこれらに付随する事項、また入学後の指導上の参考資料として利用します。
上記の業務は、その一部を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「委託業者」）において行います。業務委託にあたり、委託業者に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。
個人が特定できないように統計処理した個人情報データは、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。
あらかじめご了承ください。
- 出願書類として健康診断書は不要です。健康診断は入学後に本学で行います。
- 出願書類が日本語・英語以外の場合は、公的機関等で作成した和訳または英訳を添えてください。提出書類で原本が1部しかない場合は、原本から正しく複製されたもの（certified copy）であることの証明を受けた後、提出してください。

- (4) 「個別の入学資格審査」で「可」とされた場合には、出願書類 4,5 の提出は不要です。ただし、審査通知書のコピーを同封してください。

6. 出願書類記入上の注意

手書きの場合は、黒か青の万年筆またはボールペンで、楷書でていねいに記入してください。ワープロ使用も可能です。なお、所定用紙については、本学 Web ページからダウンロードすることもできます。

(1) 入学志願票（所定用紙①）

- ・志願者名（フリガナ）を記入し、性別を○で囲み、生年月日を記入してください。
- ・婚姻等で改姓され、各種証明書等に記載されている姓と出願時の姓とが一致しない場合は、戸籍抄本等、改姓の記載のある書類を提出してください。
- ・最終学歴について、大学名、学部名、学科名（または大学院名、研究科名、専攻名）等を記入する。また、卒業（または修了）、卒業見込（または修了見込）等の年月を記入し、卒業（あるいは卒業見込、その他）を○で囲んでください。
- ・住所は、出願から入学手続までの期間の連絡先（受験票および合否通知書の郵送先等）として使用しますので、本人と確実に連絡のとれる場所にしてください。海外在住者は必ず日本国内の連絡先（例えば親戚・知人の住所）とし「〇〇方」を忘れずに記入してください。
- ・国籍を記入し、パスポート表記氏名、在留資格、在留期限、在留カード番号を記入してください。

(2) 写真票（所定用紙②）

- ・志願者名（フリガナ）を記入し、性別を○で囲む。
- ・出願前 3 か月以内に撮影した正面半身脱帽、背景無地のカラー写真を枠（縦 4 cm×横 3 cm）の大きさに切って、裏面に研究科・専攻名、および志願者名を記入後、貼付する。

(3) 入学志願者調書（所定用紙③）

- ・主たる研究領域を選択して○で囲んでください。
- ・国際地域文化専攻（博士後期課程）の志願者は、博士論文の執筆予定言語を選択して○で囲んでください。
- ・国際地域文化専攻・経済学専攻（博士後期課程）の志願者は、指導を希望する研究指導担当者を記入してください。
- ・経済学専攻・理工学研究科の志願者は、出願前に、指導を希望する研究指導担当者、研究テーマや研究計画等について、必ず面談を行ってください。面談終了後、教員より志願者調書に署名をもらってください。
- ・法学専攻の志願者は、希望する指導教員名を記入してください。
- ・学歴は小学校入学以降、空白期間がないように記入してください。

(4) 研究計画書（所定用紙④）

- ・用紙が不足する場合は、コピーしてください。
- ・各専攻における記入方法は次表にしたがってください。

＜理工学研究科の博士後期課程志願者＞ 修士課程（博士前期課程）修了後に優れた研究業績のある者については、修業年限を 2 年もしくは 1 年とする場合があります。2 年修了もしくは 1 年修了を希望する場合には、その旨を研究計画書に明記してください。入学試験の合否判定は修業年限 3 年を前提として行いますが、2 年修了もしくは 1 年修了が可能と思われる合格者には、当該専攻からその旨の連絡をします。

専 攻	記 入 方 法
キリスト教思想 (博士前期課程)	[1]大学院進学のための目的[2]研究に対するこれまでの準備状況[3]博士前期課程での具体的な活動計画を、英語の場合は 1,000～1,500 語程度、日本語の場合は 2,000 字程度（ワープロ A4）でまとめること。
宗教思想 (博士後期課程)	[1] 自身の研究のこれまでの進捗状況、[2]今後の研究課題、そして[3]博士後期課程 3 年間における具体的な研究計画を、英語の場合は 1,500 語程度、日本語の場合は 4,000 字程度（ワープロ A4）でまとめ、他の書類と共に提出すること。

言語科学 (博士前期課程)	大学院進学のための目的、これまでの準備状況、また大学院での研究と将来の職業との関連について日本語の場合は2,000字程度、英語の場合は750語程度でまとめること。言語科学専攻でどの領域を主に専攻していくことを考えているか、どのようなテーマで研究を行う計画か、などについても言及すること。
言語科学 (博士後期課程)	自身の研究のこれまでの進捗状況（修士または博士前期修了見込者についてはすでに行った調査・研究の結果などを盛り込むこと）、今後の研究課題、および博士後期課程3年間における具体的な研究計画を日本語の場合は4,000字程度、英語の場合は1,500語程度でまとめ、他の出願書類とともに提出すること。
国際地域文化 (博士前期課程)	南山大学大学院での研究計画を日本語で記述してください。あわせて、①研究テーマ、②当該テーマに関して読んだ文献や先行研究、③研究方法、予想される研究成果や意義について明記してください。また、学部で行った勉学、職務経験、南山大学大学院を志望する理由、入学を許可された場合の専攻分野・研究課題、修了後のキャリア計画等に触れること。2,000字程度でまとめること。
国際地域文化 (博士後期課程)	[1]研究に対するこれまでの準備状況〔修士論文、またはそれに相当するこれまでに行った研究、職務経験や職務上の調査・研究内容などを盛り込むこと〕、[2]今後の研究課題、および[3]博士後期課程3年間の具体的な活動計画を日本語4,000字（原則として、日本語での博士論文執筆希望者）、または英語1,500語程度（原則として、英語での博士論文執筆希望者：ワープロ原稿）でまとめ、他の出願書類とともに提出すること。 ※研究計画書の執筆言語は、内容を重視し志願者が言語による不利益を被らないように、日本語と英語以外も、中国語、インドネシア語、スペイン語のいずれも可とする。分量は日本語もしくは英語に準じる。
経済学 (博士前期課程)	本専攻への志望動機、卒業論文（または修士論文）の題目および要旨やこれまでの勉学や経験、大学院における研究計画、および大学院終了後の計画を4,000字程度（ワープロA4）でまとめ、原本と写し2部の計3部を、他の出願書類とともに提出すること。
法律学 (博士前期課程)	本研究科を志望する理由、研究科における研究計画と大学院修了後の計画を4,000字程度（ワープロA4）でまとめ、他の出願書類とともに提出してください。
理工学 (博士前期課程) (博士後期課程)	大学院進学のための志望動機、研究に対するこれまでの準備状況（卒業論文または修士論文の題目および要旨などを含む）、博士前期課程または博士後期課程での具体的な活動計画（A4サイズ用紙にワープロ2枚程度）を、他の出願書類とともに提出すること。

(5) 指導教授（教員）の所見（所定用紙⑥）（宗教思想専攻志願者のみ）

指導教授（もしくはそれに類する立場の教員、志願者をよく知る教員など）に直接記入してもらうこと。

(6) 推薦書（所定用紙⑦）（言語科学専攻、国際地域文化専攻博士後期課程、理工学研究科志願者のみ）

志願者の人物、学力をよく知る方に依頼すること。

(7) 修業年限短縮願（所定用紙⑫）（人間文化研究科志願者のみ）（希望者のみ）

一定の要件を満たすと、修業年限を短縮できる場合があります。博士前期（修士）課程、博士後期課程ともに1年での修了を希望する場合は、出願時に「修業年限短縮願」を必要書類とともに提出してください。ただし、修業年限の短縮が認められたとしても、希望の年限での学位取得を保証するものではありません。詳細については、人間文化研究科事務室までお問い合わせください。

⇒ その他の項目について、P. 23 以降の共通事項を参照してください。

■入学審査概要【2026 年 9 月入学】

春季審査合格者および夏季審査合格者とも入学時期は2026年9月です。

合格者のうち、2026年9月卒業・修了見込者については内定とします。

1. 審査日程および募集人員

春季審査

研究科	専攻（課程）	出願期間・入学検定料振込期間	審査日	合格発表	募集人員
人間文化	言語科学 （博士前期・博士後期）	博士前期課程 2026 年 1 月 5 日（月） ～1 月 15 日（木） 【消印有効】 博士後期課程 2026 年 1 月 5 日（月） ～1 月 21 日（水） 【消印有効】	2026 年 2 月 21 日（土）	2026 年 3 月 5 日（木） 13 : 00	若干名
国際地域文化	国際地域文化 （博士前期・博士後期）				
社会科学	経済学 （博士前期）				
理工学	ソフトウェア工学 （博士前期・博士後期） データサイエンス （博士前期・博士後期）				
	電子情報工学 機械システム工学 （博士前期）				
	機械電子制御工学 （博士後期）				

夏季審査

研究科	専攻（課程）	出願期間・入学検定料振込期間	審査日	合格発表	募集人員
人間文化	言語科学 （博士前期・博士後期）	2026 年 6 月 5 日（金） ～6 月 15 日（月） 【消印有効】	2026 年 7 月 11 日（土）	2026 年 7 月 16 日（木） 13 : 00	若干名
国際地域文化	国際地域文化 （博士前期・博士後期）				
社会科学	経済学 （博士前期）				
理工学	ソフトウェア工学 （博士前期・博士後期） データサイエンス （博士前期・博士後期）				
	電子情報工学 機械システム工学 （博士前期）				
	機械電子制御工学 （博士後期）				

2. 出願資格

外国の国籍を有する日本在住者で、次のいずれかに該当する者、または2026年9月までに該当見込みの者で、かつ各専攻の示す要件を満たす者。ただし、夏季審査に出願する場合は、出願時に就学可能な在留資格を有していることを条件とする。さらに、その在留期限が入学手続期間最終日の翌日以降であることを条件とする。

博士前期課程

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認めた者で、かつ2026年8月末までに22歳に達している者

〔注〕出願資格(9)については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者などが該当します。「個別の入学資格審査」を希望する場合は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」（所定用紙Ⅰ）を請求して、春季に出願の場合は2025年11月5日（水）＜消印有効＞までに、夏季に出願の場合は2026年5月13日（水）＜消印有効＞までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書（厳封のもの）を必ず同封してください。

各専攻の出願要件

専 攻	出願要件
	次の a, b いずれかの条件を満たす者
言語科学	a 日本語教育領域を専攻するか、あるいは日本語で修士論文を執筆しようとする志願者は次の語学能力条件をいずれも満たさなければならない。 〔日本語について〕 ・日本語能力について以下のいずれかの方法で示すこと 1) 出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N1（旧1級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』360点以上を満たしていること 2) 出願時に日本語教育指導を受ける教育機関の担当者による、日本語能力が1) で示された能力に相当するかそれ以上であることを証する評価書 （＊ただし、主に日本語で授業を開講するカリキュラムや、日本語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は日本語能力の証明書や評価書の提出は不要） ・日本語で論文やレポートを書く能力があること 〔英語について〕 ・英語で学術文献を読む能力があること

言語科学	英語で修士論文を執筆しようとする志願者は次の語学能力条件をいずれも満たさなければならない。 〔英語について〕 ・出願時までに TOEFL-iBT で 100 点以上、または IELTS で 7.5 以上のスコアを取得していること（*ただし、主に英語で授業を開講するカリキュラムや、英語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は英語能力の証明書の提出は不要） 〔日本語について〕 ・日本語能力について以下のいずれかの方法で示すこと 1) 出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N2（旧 2 級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』300 点以上を満たしていること 2) 出願時に日本語教育指導を受ける教育機関の担当者による、日本語能力が 1) で示された能力に相当するかそれ以上であることを証する評価書（*ただし、主に日本語で授業を開講するカリキュラムや、日本語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は日本語能力の証明書や評価書の提出は不要）
国際地域文化	「日本語能力試験 N1（旧 1 級）」（日本国際教育支援協会）または「日本留学試験の『日本語』300 点以上（記述を含む点数）」（独立行政法人日本学生支援機構）を取得していること

【備考】社会科学部研究科経済学専攻の志願者に関して

- (1) 経済学専攻の志願者は、出願前に、指導を希望する研究指導担当者と、研究テーマや研究計画等について、必ず面談を行ってください。面談終了後、教員より入学志願者調書に署名をもらってください。
- (2) 経済学専攻の志願者で優れた研究業績のある者については、修業年限を 1 年および 1 年半とする場合があります。短縮修了を希望する志願者は出願前に、指導を希望する研究指導担当者と必ず面談を行い、短縮修了願書の教員署名欄に署名をもらってください。詳細は社会科学部研究科事務室にお問合せください。

【備考】理工学研究科の志願者に関して

- (1) 日本語を第一言語としない方の日本語能力の目安について
本研究科の授業を履修するためには、公益財団法人日本国際教育支援協会（Japan Educational Exchanges and Services）実施の「日本語能力試験」N2（旧 2 級）合格以上または独立行政法人日本学生支援機構（Japan Student Services Organization）実施の日本留学試験の「日本語」200 点以上の能力が必要です。
- (2) 出願前に、指導を希望する研究指導担当者と研究テーマや研究計画等について、必ず面談を行ってください。面談終了後、教員より入学志願者調書に署名をもらってください。

博士後期課程

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認めた者で、かつ 2026 年 8 月末までに 24 歳に達している者

〔注〕出願資格(6)については、大学の卒業者または大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者などが該当します。「個別の入学資格審査」を希望する場合は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」（所定用紙Ⅰ）を請求して、春季に出願の場合は 2025 年 1 月 5 日（水）＜消印有効＞までに、夏季に出願の場合は 2026 年 5 月 13 日（水）＜消印有効＞までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書（厳封のもの）を必ず同封してください。

各専攻の出願要件

専 攻	出願要件
言語科学	次の a 、 b いずれかの条件を満たす者
	a 言語習得論領域で日本語教育を専攻するか、あるいは日本語で博士論文を執筆しようとする志願者は次の語学能力条件をいずれも満たさなければならない。 [日本語について] - 日本語能力について以下のいずれかの方法で示すこと - 出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N1（旧1級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』380点以上を満たしていること - 出願時に日本語教育指導を受ける教育機関の担当者による、日本語能力が1)で示された能力に相当するかそれ以上であることを証する評価書（*ただし、主に日本語で授業を開講するカリキュラムや、日本語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は日本語能力の証明書や評価書の提出は不要） - 日本語で論文やレポートを書く能力があること [英語について] - 英語で学術文献を読みこなす高度な能力があることを以下のいずれかの方法で示すこと。 - 英語の学術論文の読解力を有することについての説明とそれを裏付けるもの（例えば、複数の英語文献を先行研究として要約して論じた修士論文） - 英語試験（読解）の結果（例えば、IELTS（reading）6以上、または、TOEFL-iBT（reading）30点中18点以上、英検準1級以上）を満たしていること（ただし、主に英語で授業を開講するカリキュラムや、英語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は英語能力の証明書の提出は不要）
	b 英語で博士論文を執筆しようとする志願者は次の語学能力条件をいずれも満たさなければならない。 [英語について] - 出願時までに TOEFL-iBT で 100 点以上、または IELTS で 7.5 以上のスコアを取得していること（*ただし、主に英語で授業を開講するカリキュラムや、英語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は英語能力の証明書の提出は不要） [日本語について] - 日本語能力について以下のいずれかの方法で示すこと - 出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N2（旧2級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』300点以上を満たしていること - 出願時に日本語教育指導を受ける教育機関の担当者による、日本語能力が1)で示された能力に相当するかそれ以上であることを証する評価書（*ただし、主に日本語で授業を開講するカリキュラムや、日本語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は日本語能力の証明書や評価書の提出は不要）
国際地域文化	以下の a または b の条件を満たす者
	a 日本語での博士論文執筆希望者 「日本語能力試験 N1(旧1級)」(日本国際教育支援協会)または「日本留学試験」の『日本語』300点以上(記述を含む点数)(独立行政法人日本学生支援機構)を取得していること
	b 英語での博士論文執筆希望者 以下の【英語】および【日本語】の条件を満たしていること 【英語】 (1)～(3)いずれかの基準以上のスコアを取得していること (1) TOEFL-iBT: 79 点以上 (2) TOEFL-PBT: 550 点以上 (3) IELTS: 6.0 以上 ※ただし、英語が第一言語の者は、英語の語学能力証明書類の提出を免除する。 【日本語】 (1)～(2)いずれかの基準以上のスコアを取得していること (1)「日本語能力試験 N2(旧2級)」(日本国際教育支援協会) (2)「日本留学試験の日本語 200 点以上」(独立行政法人日本学生支援機構) ※(1)または(2)と同等の日本語能力を有することを示す出身大学等の指導教員ないし日本語教育担当教員からの証明書類(推薦状)の提出も可とする。 ※日本の大学、大学院のいずれかを、日本語で授業を受け、卒業、修了(見込みを含む)した者は、日本語能力の証明書を免除とする。

【備考】理工学研究科の志願者に関して

- 日本語を第一言語としない方の日本語能力の目安について
本研究科の授業を履修するためには、公益財団法人日本国際教育支援協会（Japan Educational Exchanges and Services）実施の「日本語能力試験」N2（旧2級）合格以上または独立行政法人日本学生支援機構（Japan Student Services Organization）実施の日本留学試験の「日本語」200点以上の能力が必要です。
- 博士後期課程において、英語による授業・研究指導を希望する場合は、相談に応じます。
- 出願前に、指導を希望する研究指導担当者と研究テーマや研究計画等について、必ず面談を行ってください。面談終了後、教員より入学志願者調査に署名をもらってください。

3. 審査方法および審査日時

人間文化研究科

専攻	審査日	時間	審査方法	配点	備考
言語科学 (博士前期)	【春季】 2026年2月21日(土) 【夏季】 2026年7月11日(土)	—	書類審査	50点	研究計画書を重視する。
		10:00 ～11:00	英文資料を基に 解答する科目	50点	言語に関する一般的な内容の英文資料を読んで解答する。 辞書持ち込み不可
		11:15 ～12:15	小論文	50点	日本語をはじめとする外国語学習の経験に関連した言語に関する基礎知識、論述力をみる。
		13:30～	口述試問	50点	研究計画書の内容に関する口述試問。
言語科学 (博士後期)	【春季】 2026年2月21日(土) 【夏季】 2026年7月11日(土)	—	書類審査	50点	研究計画書を重視する。
		13:00～	口述試問	50点	提出論文、研究計画書の内容に加えて、言語理論または言語習得論に関する知識を問う。

国際地域文化研究科

専攻	審査日	時間	審査方法	配点	備考
国際地域文化 (博士前期)	【春季】 2026年2月21日(土) 【夏季】 2026年7月11日(土)	—	書類審査	100点	研究計画書を重視する。
		10:00 ～12:00	小論文	100点	志望する研究領域についての基礎知識・論述力(使用する言語能力を含む)を問う問題。
		13:00～	口述試問	100点	志望する研究領域・研究分野に関する基礎知識(使用する言語能力を含む)ならびに研究計画についての試問。
国際地域文化 (博士後期)	【春季】 2026年2月21日(土) 【夏季】 2026年7月11日(土)	—	書類審査	100点	提出論文および研究計画書について
		13:00～	口述試問	100点	国際地域文化に関する専門知識(使用する言語能力を含む)ならびに研究計画についての試問。

社会科学研究科

専攻	審査日	時間	審査方法	配点	備考
経済学 (博士前期)	【春季】 2026年2月21日(土) 【夏季】 2026年7月11日(土)	10:00 ～11:30	小論文	100点	テーマは経済に関する時事問題
		12:00 ～13:30	専攻科目	100点	専攻科目の基礎に関する用語の説明
		15:00～	口述試問	100点	提出された書類を参考に、志望動機、勉学意欲を中心とした口述試問。

理工学研究科

専攻	審査日	時間	審査方法	配点	備考
全 専 攻 (博士前期)	【春季】 2026 年 2 月 21 日 (土) 【夏季】 2026 年 7 月 11 日 (土)	10:00 ～11:30	数学 (微分積分、線形代数)、 物理	150 点	
		12:30 ～13:15	英語	100 点	辞書持ち込み可 (電子辞書も可)
		13:30 ～15:00	専門領域に関する基礎 知識	200 点	ソフトウェア工学、情報科学、オペレーションズ・リサーチ、統計学、機械学習工学、通信ネットワーク、数理論理学、機械工学、制御工学の 9 題から、志望する専攻に応じて、以下のとおり、2 題を選択する。 ○ソフトウェア工学専攻： ソフトウェア工学、情報科学の 2 題から 1 題を選択し、選択しなかった残り 8 題から 1 題を選択 ○データサイエンス専攻： オペレーションズ・リサーチ、統計学、機械学習工学の 3 題から 1 題を選択し、選択しなかった残り 8 題から 1 題を選択 ○電子情報工学専攻： 情報科学、通信ネットワーク、数理論理学の 3 題から 1 題を選択し、選択しなかった残り 8 題から 1 題を選択 ○機械システム工学専攻： 機械工学、制御工学の 2 題から 1 題を選択し、選択しなかった残り 8 題から 1 題を選択
		15:15～	口述試問	200 点	15 分間程度
全 専 攻 (博士後期)	【春季】 2026 年 2 月 21 日 (土) 【夏季】 2026 年 7 月 11 日 (土)	13:00～	口述試問	100 点	書類審査および出願書類の研究成果資料 (あるいは研究計画書) を中心とした 1 時間程度の口述試問 ※筆記試験はありません

4. 出願書類 ※所定用紙（PDF、Word）は本学 Web ページよりダウンロード可能です。

1	入学志願票	所定用紙①
2	写真票 ・出願前 3 か月以内に撮影した正面半身脱帽、背景無地のカラー写真（縦 4cm×横 3cm）裏面に研究科・専攻名および志願者名を記入後、貼付すること。	所定用紙②
3	入学志願者調書 ※経済学専攻および理工学研究科の志願者は事前面談が必要となります。	所定用紙③
4	博士前期課程志願者 出身大学等の卒業証明書または卒業見込証明書 出身大学等の成績証明書（厳封のもの） ・複数の学部を卒業された方はそのすべての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合はその科目を履修した大学等の成績証明書も提出してください。	
5	博士後期課程志願者 修士の学位取得証明書または取得見込証明書 出身大学院（修士課程または博士前期課程）の成績証明書（厳封のもの） ・複数の大学院を修了された方は、そのすべての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合はその科目を履修した大学院等の成績証明書も提出してください。	
6	研究計画書 3 部（1 部は原本、2 部はコピー） （言語科学専攻および国際地域文化専攻博士後期課程は 1 部）	所定用紙④
7	論文 ※言語科学専攻（博士後期課程）・国際地域文化専攻（博士後期課程）・理工学研究科（博士後期課程）のみ 言語科学専攻（博士後期課程）志願者 公刊・未公刊は問わない。 ・修士論文を書き終わっている場合は、修士論文のコピーを提出してください。 ・修士論文以外の業績（論文）がある場合は、その抜き刷りあるいはコピーも提出してください。 国際地域文化専攻（博士後期課程）志願者 公刊・未公刊は問わないが、研究能力を示すもの ・修士論文または修士論文に相当する論文のコピーを提出してください。執筆論文がない場合は、これまでの研究成果を示す報告書を提出してください。 理工学研究科（博士後期課程）志願者 修士論文、最近 2 年間程度の学会・研究会発表論文等の研究成果資料のコピー ・研究成果資料が無い方は、現在進めている研究内容についての研究計画書（A4 サイズ用紙にワープロ 2 枚程度：任意用紙）を提出してください。 ・就業経験のある方は、研究成果資料のコピーに加えて実務経験に基づく研究計画書（A4 サイズ用紙にワープロ 2 枚程度：任意用紙）を提出してください。	
8	志望理由書（国際地域文化研究科は博士前期課程・博士後期課程志願者、そのほかの研究科は博士後期課程志願者のみ）	所定用紙⑤
9	推薦書（厳封のもの） 志願者の人物、学力をよく知る方に依頼すること ・言語科学専攻（博士前期課程）志願者 1 通 ・言語科学専攻（博士後期課程）志願者 2 通 ・国際地域文化専攻（博士後期課程）志願者 1 通 ・理工学研究科志願者 1 通	所定用紙⑦

10	語学能力証明書【言語科学専攻、国際地域文化専攻以外】 a. 英語が第一言語でない志願者で、Educational Testing Service (ETS) が実施する「Test of English as a Foreign Language (TOEFL)」または、ケンブリッジ大学英語検定機構、ブリティッシュ・カウンシル、IDP Education が実施する「International English Language Testing System (IELTS)」を受験した者は、参考資料として成績結果を提出してください。 b. 日本語が第一言語でない志願者で、公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」を受験した者は、参考資料として成績結果を提出してください。	所定用紙⑧
11	語学能力証明書【言語科学専攻、国際地域文化専攻】 言語科学専攻（博士前期課程）志願者、国際地域文化専攻（博士前期課程）志願者 ・出願資格「専攻の出願要件」を満たしていることを確認できる証明書を添付してください。 言語科学専攻（博士後期課程）志願者、国際地域文化専攻（博士後期課程）志願者 ・出願資格「専攻の出願要件」を満たしていることを確認できる証明書を添付してください。	所定用紙⑨
12	博士後期課程志願者 南山大学大学院博士後期課程奨学支援申請書	所定用紙⑩
13	修業年限短縮願【人間文化研究科】（希望者のみ）	所定用紙⑫
14	入学検定料（15,000 円）振込領収書 ・ATM 利用の場合は、利用明細のコピー可	所定用紙⑬
15	留学費支払能力に関する証明書（定住者・永住者を除く） ・最低預貯金残高…初年度学生納入金相当額	所定用紙⑭
16	宛名シール（宛名明記）	
17	受験票返送用封筒（宛名明記、定形郵便速達料金分の切手貼付）	
18	パスポートおよび在留カードの写し ・氏名の表記ならびに在留資格・在留期間の記載頁を提出してください。	

5. 出願書類についての注意事項

- 出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は入学試験実施、合格発表、入学手続とこれらに付随する事項、また入学後の指導上の参考資料として利用します。
上記の業務は、その一部を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「委託業者」）において行います。業務委託にあたり、委託業者に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。個人が特定できないように統計処理した個人情報データは、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。
あらかじめご了承ください。
- 出願書類として健康診断書は不要です。健康診断は入学後に本学で行います。
- 出願書類が日本語・英語以外の場合は、公的機関等で作成した和訳または英訳を添えてください。提出書類で原本が1部しかない場合は、原本から正しく複製されたもの（certified copy）であることの証明を受けた後、提出してください。
- 「個別の入学資格審査」で「可」とされた場合には、出願書類4,5の提出は不要です。ただし、審査通知書のコピーを同封してください。

6. 出願書類記入上の注意

手書きの場合は、黒か青の万年筆またはボールペンで、楷書でていねいに記入してください。ワープロ使用も可能です。
なお、所定用紙については、本学 Web ページからダウンロードすることもできます。

(1) 入学志願票（所定用紙①）

- ・志願者名（フリガナ）を記入し、性別を○で囲み、生年月日を記入してください。
- ・婚姻等で改姓され、各種証明書等に記載されている姓と出願時の姓とが一致しない場合は、戸籍抄本等、改姓の記載のある書類を提出してください。
- ・最終学歴について、大学名、学部名、学科名（または大学院名、研究科名、専攻名）等を記入する。また、卒業（または修了）、卒業見込（または修了見込）等の年月を記入し、卒業（あるいは卒業見込、その他）を○で囲んでください。
- ・住所は、出願から入学手続までの期間の連絡先（受験票および合否通知書の郵送先等）として使用しますので、本人と確実に連絡のとれる場所にしてください。海外在住者は必ず日本国内の連絡先（例えば親戚・知人の住所）とし「〇〇方」を忘れずに記入してください。
- ・国籍を記入し、パスポート表記氏名、在留資格、在留期限、在留カード番号を記入してください。

(2) 写真票（所定用紙②）

- ・志願者名（フリガナ）を記入し、性別を○で囲む。
- ・出願前 3 か月以内に撮影した正面半身脱帽、背景無地のカラー写真を枠（縦 4 cm×横 3 cm）の大きさに切って、裏面に研究科・専攻名および志願者名を記入後、貼付する。

(3) 入学志願者調書（所定用紙③）

- ・主たる研究領域を選択して○で囲んでください。
- ・国際地域文化専攻（博士後期課程）の志願者は、博士論文の執筆予定言語を選択して○で囲んでください。
- ・経済学専攻・理工学研究科の志願者は、出願前に、指導を希望する研究指導担当者と、研究テーマや研究計画等について、必ず面談を行ってください。面談終了後、教員より署名をもらってください。
- ・学歴は小学校入学以降、空白期間がないように記入してください。

(4) 研究計画書（所定用紙④）

- ・用紙が不足する場合は、コピーしてください。
各専攻における記入方法は次表にしたがってください。

＜理工学研究科の博士後期課程志願者＞ 修士課程（博士前期課程）修了後に優れた研究業績のある者については、修業年限を 2 年もしくは 1 年とする場合があります。2 年修了もしくは 1 年修了を希望する場合には、その旨を研究計画書に明記してください。入学試験の合否判定は修業年限 3 年を前提として行いますが、2 年修了もしくは 1 年修了が可能と思われる合格者には、当該専攻からその旨の連絡をします。

専 攻	記 入 方 法
言語科学 (博士前期課程)	大学院進学目的、これまでの準備状況、また大学院での研究と将来の職業との関連について日本語の場合は 2,000 字程度、英語の場合は 750 語程度でまとめること。言語科学専攻の中のどの領域を主に専攻していくことを考えているか、どのようなテーマで研究を行う計画か、などについても言及すること。
言語科学 (博士後期課程)	自身の研究のこれまでの進捗状況（修士または博士前期修了見込者についてはすでに行った調査・研究の結果などを盛り込むこと）、今後の研究課題、および博士後期課程 3 年間における具体的な研究計画を日本語の場合は 4,000 字程度、英語の場合は 1,500 語程度でまとめ、他の出願書類とともに提出すること。

国際地域文化 (博士前期課程)	南山大学大学院での研究計画を日本語で記述してください。あわせて、①研究テーマ、②当該テーマに関して読んだ文献や先行研究、③研究方法、予想される研究成果や意義について明記してください。また、学部で行った勉学、職務経験、南山大学大学院を志望する理由、入学を許可された場合の専攻分野・研究課題、修了後のキャリア計画等に触れること。2,000 字程度でまとめること。
国際地域文化 (博士後期課程)	[1] 研究に対するこれまでの準備状況〔修士論文、またはそれに相当するこれまで行った研究、職務経験や職務上の調査・研究内容などを盛り込むこと〕、[2] 今後の研究課題、および[3] 博士後期課程 3 年間の具体的な活動計画を日本語 4,000 字（原則として、日本語での博士論文執筆希望者）、または英語 1,500 語程度（原則として、英語での博士論文執筆希望者：ワープロ原稿）でまとめ、他の出願書類とともに提出すること。 ※研究計画書の執筆言語は、内容を重視し志願者が言語による不利益を被らないように、日本語と英語以外も、中国語、インドネシア語、スペイン語のいずれも可とする。分量は日本語もしくは英語に準じる。
経済学 (博士前期課程)	本専攻への志望動機、卒業論文（または修士論文）の題目および要旨やこれまでの勉学や経験、大学院における研究計画、および大学院終了後の計画を 4,000 字程度（ワープロ A4）でまとめ、原本と写し 2 部の計 3 部を、他の出願書類とともに提出すること。
理工学 (博士前期課程) (博士後期課程)	大学院進学志望動機、研究に対するこれまでの準備状況（卒業論文または修士論文の題目および要旨などを含む）、博士前期課程または博士後期課程での具体的な活動計画（A4 サイズ用紙にワープロ 2 枚程度）を、他の出願書類とともに提出すること。

- (5) **推薦書**（所定用紙⑦）（言語科学専攻志願者および国際地域文化専攻博士後期課程志願者のみ）
志願者の人物、学力をよく知る方に依頼すること。

- (6) **修業年限短縮願**（所定用紙⑫）（人間文化研究科志願者のみ）（希望者のみ）
一定の要件を満たすと、修業年限を短縮できる場合があります。博士前期（修士）課程、博士後期課程ともに 1 年での修了を希望する場合は、出願時に「修業年限短縮願」を必要書類とともに提出してください。ただし、修業年限の短縮が認められたとしても、希望の年限での学位取得を保証するものではありません。詳細については、人間文化研究科事務室までお問い合わせください。

⇒ その他の項目について、P. 23 以降の共通事項を参照してください。

■ 共通事項【2026 年 4 月入学・2026 年 9 月入学】

1. 入学検定料

15,000 円

- (1) 振込期間 → P.3 (2026 年 4 月入学)、P.13 (2026 年 9 月入学) に記載
- (2) 下記銀行口座に「電信」扱いで振り込んでください。
- (3) 振込領収書のコピーを所定用紙⑬に貼付し、出願書類とともに提出してください。
- (4) 振込手数料は各自で負担してください。
- (5) 現金、為替等での出願は受け付けません。

送り先	三菱UFJ 銀行 八事支店 普通預金
口座番号	1 6 4 9 6 4 6
口座名	ガク) ナンザンガクエン 学) 南山学園

2. 出願方法（郵送に限ります）

- (1) 出願期間 → P.3 (2026 年 4 月入学)、P.13 (2026 年 9 月入学) に記載
- (2) 出願書類を市販の角型 2 号サイズの封筒に入れて「簡易書留速達郵便」で送付してください。
なお、封筒の表には必要事項を記入した所定のラベルを貼付してください。所定のラベルは、本学 Web ページよりダウンロードすることもできます。
- (3) 提出された出願書類に不備があった場合、本学から E-mail・電話等により連絡します。出願書類に不備があり、出願期間内に解消されない場合は、出願を受理できないことがあります。
- (4) 一旦提出された出願書類および入学検定料は原則として返還しません。
- (5) 身体に障がいや有する志願者で、試験において受験上の特別な措置を希望する場合は、出願に先立って、できるだけ早期に本学入学センターに連絡してください。

3. 受験票の受け取り

以下の日を過ぎても未着の場合のみ、入学センターに連絡してください。

【2026 年 4 月入学】

夏季審査	2025 年 7 月 8 日 (火)
春季審査	2026 年 2 月 10 日 (火)

【2026 年 9 月入学】

春季審査	2026 年 2 月 10 日 (火)
夏季審査	2026 年 6 月 30 日 (火)

4. 試験場

南山大学 名古屋市昭和区山里町 18 番地

5. 審査当日の注意事項

- (1) 試験会場は 9:00 に開場します。
- (2) 受験票を忘れたり、紛失したりした場合は、係員に申し出てください。
- (3) 携帯電話等は、試験室に入る前に電源を切っておいてください。携帯電話等の通信機能や辞書機能を持つ物を時計として使用することはできません。

6. 筆記試験について

- (1) 当日は、試験開始 15 分前までに所定の試験室に入室し着席してください。
- (2) 試験終了後は、監督者が解答用紙を全部回収し、確認が終わるまで席を立たないでください。
- (3) 試験開始後 20 分以上遅刻した者は、口述試問を含むその後の試験科目を受験できません。
- (4) 試験室に入室してから試験終了までは退室を認めません。
- (5) 試験室では、すべて監督者の指示に従ってください。
- (6) 試験時間中、受験票は常に机の上に置いてください。

7. 口述試問について

- (1) 口述試問室・時間は当日配付の書類で指示します。
- (2) 口述試問の開始時刻から20分以上遅刻した者は、受験できません。

8. 合格発表

- (1) 合格発表日 → P.3 (2026年4月入学)、P.13 (2026年9月入学) に記載
- (2) 合格者の受験番号を、本学 Web ページに掲載します。(https://www.nanzan-u.ac.jp/)
- (3) 合格発表当日、可否通知書を郵送します。合格発表後に発送しますので、地域によっては到着まで2~3日かかる場合もあります。なお、合格者には、入学手続書類を同封します。
- (4) 郵便、電話、E-mail 等による問い合わせには一切応じません。

9. 入学手続

- (1) 入学手続期間

【2026年4月入学】

手続方法		手続期間【消印有効】
甲方式	一括納入方法 入学手続時納入金全額	【夏季】2025年7月18日(金)~7月24日(木) 【春季】2026年3月6日(金)~3月13日(金)
乙方式 (夏季のみ)	分割納入方法	第1次: 2025年7月18日(金)~7月24日(木)
	第1次: 入学金および入学手続延期手数料 第2次: 入学金を除いた学生納入金	第2次: 2026年3月6日(金)~3月13日(金)

【2026年9月入学】

手続方法		手続期間【消印有効】
甲方式	一括納入方法 入学手続時納入金全額	【春季】2026年3月6日(金)~3月13日(金) 【夏季】2026年7月24日(金)~7月30日(木)
乙方式 (春季のみ)	分割納入方法	第1次: 2026年3月6日(金)~3月13日(金)
	第1次: 入学金および入学手続延期手数料 第2次: 入学金を除いた学生納入金	第2次: 2026年7月24日(金)~7月30日(木)

- (2) 所定の期間内に「授業料その他の納入金の納入」と「Web フォーム入力」「必要書類の提出」を完了する必要があります。詳細は合格者にご案内する「入学手続案内」Web ページにてご確認ください。
- (3) 所定の期間内に手続を行わなかった者は、入学資格を失います。
- (4) 在留資格認定証明書交付申請が必要な方は、入学手続が完了してからでないと手続が行えませんので、ご注意ください。
- (5) 入学手続の際に必要な納入金は次のとおりです。入学手続を乙方式でされる場合は、第1次手続時に入学金の他に入学手続延期手数料33,000円が必要です。

人間文化研究科、国際地域文化研究科、社会科学研究科、法学研究科 (単位: 円)

納入金	入学手続時納入金
入学金	300,000
授業料(半期分)	287,000
施設設備費(半期分)	52,500
合計	639,500 *1 *2

理工学研究科 (単位: 円)

納入金	入学手続時納入金
入学金	300,000
授業料(半期分)	327,000
施設設備費(半期分)	52,500
合計	679,500 *1 *2

- *1 上表以外に、同窓会関係の諸費を必要とします。入学手続時の納入金額については、合格者にご案内する「入学手続案内」Web ページにてご確認ください。
- *2 日本国外から送金する場合は、上記金額に海外送金銀行取り扱い手数料として 3,000 円を加えた額を振り込んでください。
- ・本学卒業者等の合格者については、入学後、入学金相当額の奨学金が給付されます。
- ・外国人学生のうち、カトリック系修道会等所属学生または、私費外国人留学生と認定された場合には、授業料および施設設備費の 2 分の 1 が減免されます。
- ・各種減免制度の対象となる場合、入学手続時に申請書等の必要書類を提出してください。詳細は「入学手続案内」Web ページをご確認ください。
- ・博士前期課程において、南山大学大学院学則第 69 条第 1 項により、1 年で修了する者の初年度授業料は上記の 1.5 倍です。ただし、1 年で修了しない場合の 2 年目の授業料は上記の 0.5 倍となります。
- ・博士後期課程において、授業料等の支援（減免）を行う制度があります。後述の「南山大学大学院博士後期課程奨学支援制度」を参照してください。

一旦提出された書類および入学金（入学手続延期手数料を含む）は、いかなる理由があっても返還しませんのでご注意ください。なお、入学手続後に入学を辞退される場合は、2026 年 4 月入学の場合は 2026 年 3 月 31 日（火）〈必着〉までに、2026 年 9 月入学の場合は 2026 年 9 月 1 日（金）〈必着〉までに、本人および保証人連名の文書で返還請求があった場合に限り、納入金のうち入学金（入学手続延期手数料を含む）以外の授業料、施設設備費等を返還します。詳細については、「入学手続案内」Web ページにてご確認ください。

10. 入学試験に関する個人情報開示

大学院入学試験受験者に係る個人情報開示について、受験者本人から請求があった場合に限り開示します。開示を希望する方は、次の要領でお申込みください。

- (1) 申請者
受験者本人に限ります。（代理人による申請は不可）
- (2) 申込方法
次の書類等を封筒に入れ、表面に「入試成績開示請求」と朱書きして、「簡易書留郵便」で本学入学センター宛に送付してください。
ア．南山大学大学院入学試験に係る個人情報開示請求書（様式 1）：本学 Web ページよりダウンロード
イ．開示を希望する入学試験受験票：コピー不可。個人情報開示書とともに返送します。
ウ．開示手数料：定額小為替 500 円分
- (3) 受験時と住所が異なる場合
住民票の写しを同封してください。
- (4) 書類の送付・お問い合わせ先
〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18 番地 南山大学入学センター
Phone : 052-832-3119
Fax : 052-832-3592
E-mail : ml-grad@nanzan-u.ac.jp

11. 南山大学大学院博士後期課程奨学支援制度

博士後期課程に在学する学生を対象に、授業料等を減免し、博士の学位取得を支援することを目的とした「南山大学大学院博士後期課程奨学支援制度」があります。

出願時に所定用紙「南山大学大学院博士後期課程奨学支援申請書」を提出した場合、入学試験合格者に対し、本奨学支援の資格の有無を審査します。奨学支援の資格有と認められた場合は、授業料等の減免を受けることができます。審査結果は、入学試験の合格通知書と合わせて通知します。

＜制度の概要＞

支援内容 : 授業料および施設設備費の半額を減免する

支援期間 : 1 年間

*ただし、同様の手続を行うことにより、翌年も引き続き支援を受けることが可能（年度毎に審査有）

審査 : 申請に基づき、所属する研究科の研究科委員会において、博士の学位取得への意志を確認すると同時に研究計画および研究業績を測り、支援（減免）の資格の有無を決定する

*審査において、出願時に提出した書類（研究計画書等）を使用

12. その他

(1) 日本語を第一言語としない方の日本語能力の目安について

各研究科・専攻の授業を履修するためには、原則として以下の表程度の日本語能力が必要です。

専攻	試験の種類	公益財団法人日本国際教育支援協会 (Japan Educational Exchanges and Services) 「日本語能力試験」	独立行政法人日本学生支援機構 (Japan Student Services Organization) 日本留学試験「日本語」
キリスト教思想専攻 (博士前期課程)		N 1 (旧 1 級) 程度	2 0 0 点程度
宗教思想専攻 (博士後期課程)		N 1 (旧 1 級) 程度	3 0 0 点程度
言語科学専攻 (博士前期課程) 日本語教育領域		N 1 (旧 1 級)	3 6 0 点
言語科学専攻 (博士後期課程) 言語習得論領域で日本語教育 を専攻する者		N 1 (旧 1 級)	3 8 0 点
国際地域文化専攻 (博士前期課程)		N 1 (旧 1 級) 程度	3 0 0 点程度
国際地域文化専攻 (博士後期課程)		N 1 (旧 1 級) ないし N 2 (旧 2 級) 程度 (博士論文執筆言語による)	3 0 0 点ないし 2 0 0 点程度 (博士論文執筆言語による)
経済学専攻 (博士前期課程)		N 1 (旧 1 級) 程度	2 0 0 点程度
法学専攻 (博士前期課程)		N 1 (旧 1 級)	2 4 0 点以上 (記述を含めた場合は 2 7 0 点以上)
理工学研究科 各専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)		N 2 (旧 2 級) 以上	2 0 0 点以上

(2) 一部の講義は、平日の夜間 (18 : 30 ~) または、土・日曜日に開講されることもあります。詳細については、各研究科事務室にお問い合わせください。

(3) 国際地域文化専攻 (博士後期課程) における博士論文の執筆言語は、日本語または英語となります。

13. 入学試験参考図書リスト

言語科学専攻 博士前期課程

以下のような図書を参考に勉強しておくことを勧めます。ただし、この中から出題されるということではありません。

[言語学領域]

Akmajian, A., R.A. Demers, A. Farmer, and R.M. Harnish (2010) *Linguistics: An Introduction to Language and Communication* (6th edition). MIT Press.

Fromkin, V.A. (2000) *Linguistics: an Introduction to Linguistic Theory*. Blackwell.

Fromkin, V. A., R. Rodman, and N. Hyams (2011) *An Introduction to Language* (9th edition). Wadsworth.

益岡隆志 (編著) (2011) 『はじめて学ぶ日本語学』ミネルヴァ書房。

大津由紀雄 (編著) (2009) 『はじめて学ぶ言語学』ミネルヴァ書房。

ピンカー、スティーブン (著) (棕田直子 (訳)) (1995) 『言語を生み出す本能 (上・下)』NHK ブックス。

辻幸夫 (編集主幹) (2019) 『認知言語学大事典』朝倉書店

[英語教育領域]

- Brown, H.D., and H. Lee (2015) *Teaching by Principles: An Interactive Approach to Language Pedagogy* (4th Edition). Pearson Education ESL.
- Brown, H.D. (2014) *Principles of Language Learning and Teaching* (6th Edition). Pearson Japan.
- Lightbown, P.M., and N. Spada (2013) *How Languages Are Learned* (4th Edition). Oxford University Press.
- Richards, J.C., and T.S. Rodgers (2014) *Approaches and Methods in Language Teaching*. Cambridge University Press.

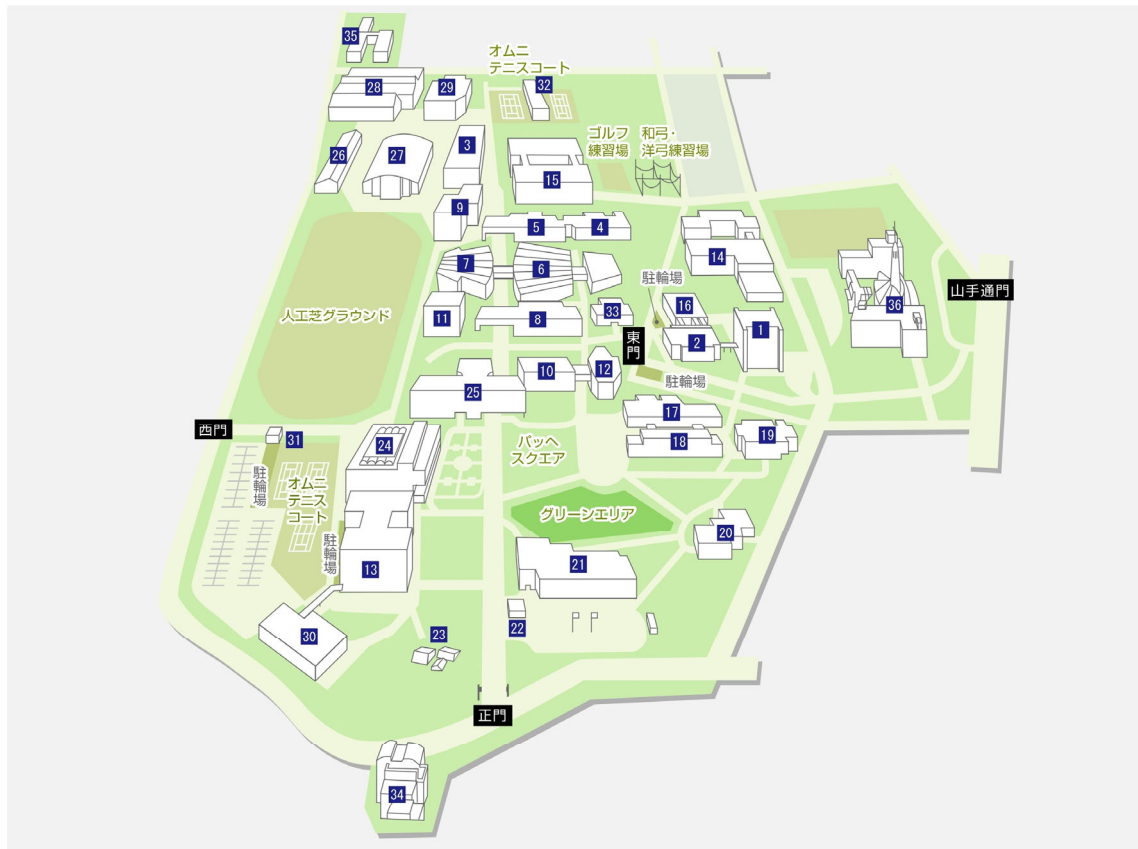
[日本語教育領域]

- 川上郁雄（編）（2017）『公共日本語教育学 - 社会をつくる日本語教育- 』くろしお出版.
- 近藤安月子・小森和子（編）（2012）『研究社日本語教育辞典』研究社
- 佐藤慎司・ドーア根理子（2008）『文化、ことば、教育 - 日本語/日本の「標準」を越えて- 』明石書店.
- 迫田久美子（2020）『改訂版 日本語教育に生かす第二言語習得研究』アルク.
- 野田尚史（編）『コミュニケーションのための日本語教育文法』くろしお出版.
- 細川英雄、尾辻恵美、マルチェッラ・マリオッティ（編）（2016）『市民性形成とことばの教育』くろしお出版.
- 本田弘之、岩田一成、義永美央子（2014）『日本語教育学の歩き方 - 初心者のための研究ガイド- 』大阪大学出版会.
- Ortega, Lourdes (2009). *Understanding Second Language Acquisition*. Hodder Education.
- Saville-Troike, Muriel & Barto, Karen (2016). *Introducing Second Language Acquisition*. Cambridge University Press.

経済学専攻 博士前期課程

経済学専攻の入学試験参考図書リストは、社会科学研究科事務室に請求してください。

南山大学 構内図



教室棟

- | | | | |
|---|---|---|--|
| <p>1 A棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法科大学院棟 ・法曹実務教育研究センター <p>2 B棟</p> <p>3 D棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係研究センター ・学生交流センター ・教職センター ・保健センター <p>(保健室／学生相談室)
／大学生生活支援室</p> <p>4 E棟</p> <p>5 F棟</p> | <p>6 G棟</p> <p>7 G30</p> <p>8 H棟</p> <p>9 J棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営研究センター ・社会倫理研究所 ・アメリカ研究センター ・ラテンアメリカ研究センター ・ヨーロッパ研究センター ・アジア・太平洋研究センター ・地域研究センター図書室 <p>10 K棟</p> | <p>11 L棟：ヒルシュマイヤー記念館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語学研究センター ・視聴覚教育センター <p>12 M棟</p> <p>13 R棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フラッテンホール ・国際センター ・外国語教育センター ・ワールドプラザ ・ジャパンプラザ ・多文化交流ラウンジ ・人類学博物館 ・礼拝室 ・南山エクステンション・カレッジ事務室 | <p>14 S棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報センター ・理工学研究センター ・BISTRO CEZARS ・丸善 ・LAWSON ・ラーニング・commons <p>15 Q棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア支援課 ・ラーニング・commons |
|---|---|---|--|

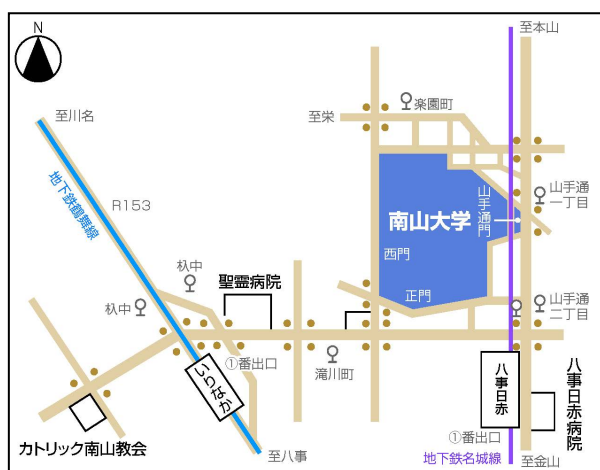
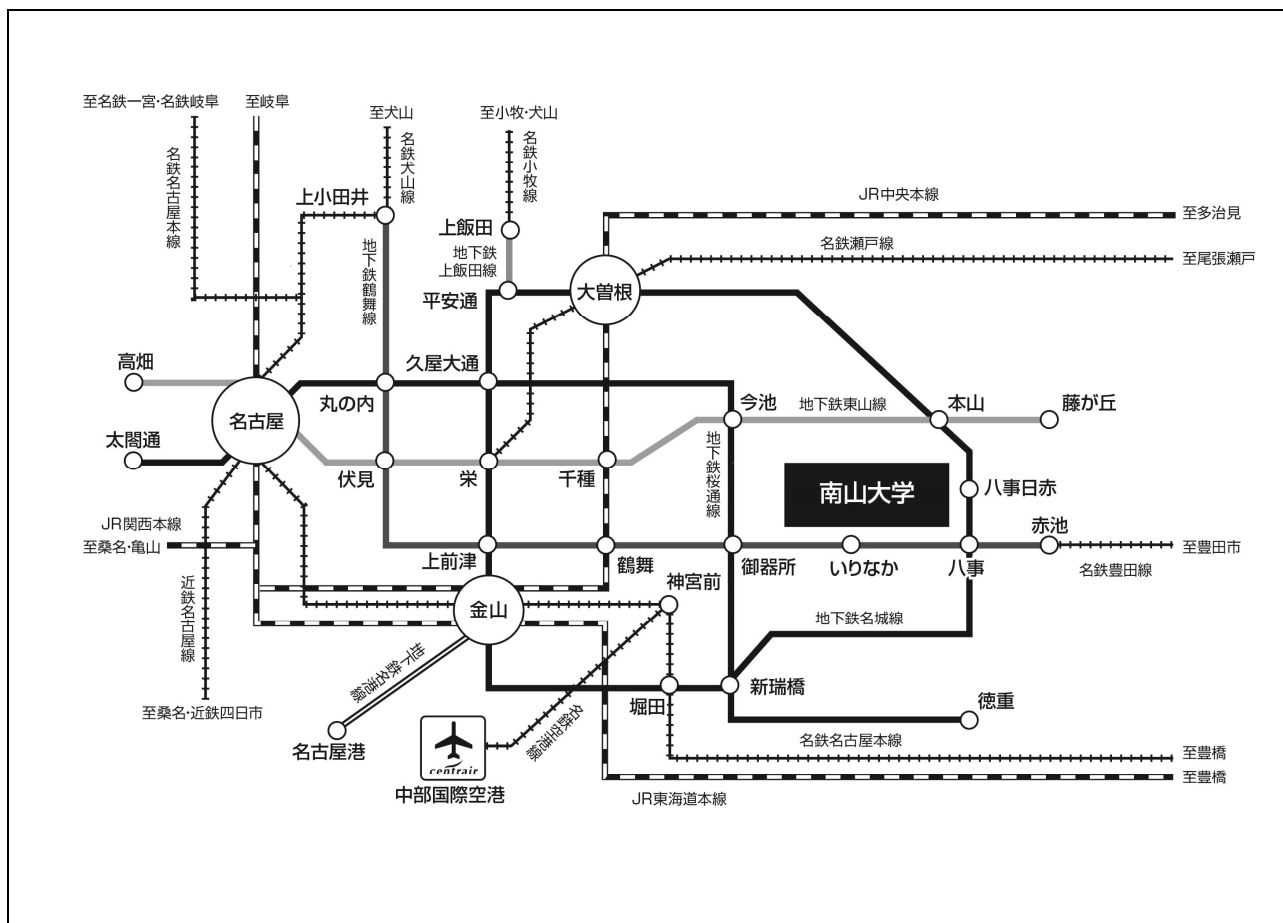
その他の施設

- | | | | |
|---|--|---|--|
| <p>16 C棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生課 ・教務課 ・SWFFTS MAGIC Lab. <p>17 N棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラーニング・commons <p>18 第2研究室棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラーニング・commons <p>19 南山宗教文化研究所／人類学研究所</p> <p>20 同窓会館</p> <p>21 本部棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学センター ・教学企画課 ・研究推進課 ・ウエルオン | <p>22 総合受付</p> <p>23 茶室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・方寸庵・也有の席 <p>24 南山大学ライネルス中央図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラーニング・commons <p>25 第1研究室棟</p> <p>26 クラブハウス</p> <p>27 体育館</p> <p>28 体育センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育教育センター ・メインアリーナ ・室内プール ・第3食堂 | <p>29 コバン：学生会館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修センター ・フォーノ ・CEZARS CAFE ・LAWSON ・咖喱日和 ・紀伊國屋書店 ・NES <p>30 リアソ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リアソカフェ ・クラブハウス | <p>31 西門受付</p> <p>32 第2クラブハウス</p> <p>33 ロゴセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教センター <p>34 南山大学名古屋交流会館</p> <p>35 南山大学ヤンセン国際寮</p> |
|---|--|---|--|

神言会施設

- 36 神言神学院**

南山大学 アクセスマップ



【 交通案内 】

地下鉄名城線「八事日赤」駅

1 番出口より徒歩約 8 分

地下鉄鶴舞線「いりなか」駅

1 番出口より徒歩約 15 分



■入試に関するお問い合わせ先

■書類送付先

南山大学入学センター

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18番地

E-mail ml-grad@nanzan-u.ac.jp

Phone (052) 832-3119 (直通)

■履修内容等に関するお問い合わせ先

人間文化研究科事務室 Phone (052) 832-4326 (直通)

国際地域文化研究科事務室 Phone (052) 832-4327 (直通)

社会科学研究科事務室 Phone (052) 832-4341 (直通)

法学研究科事務室 Phone (052) 832-8011 (直通)

理工学研究科事務室 Phone (052) 832-3278 (直通)

<https://www.nanzan-u.ac.jp/>

南山大学は、ジブリパークのオフィシャルパートナーです。